

1 家庭での環境学習等に役立つ情報の収集・発信・・・本編P17														
・地域の特性を活かした体験活動や世代に応じた環境学習、世代間をつなぐ環境学習等の場や機会についての情報収集・発信 ・家庭での環境学習に役立つ環境学習の場や機会の情報収集・発信 ・日々の生活での環境に配慮した取組事例や、安全・安心な生活に必要な知識・情報の発信 ・地域の抱える環境問題と、その解決のために各家庭でできること、さらに各家庭での取組の結果、県全体でどんな効果が期待できるかといった情報の発信														
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
1	県民文化局	県民生活課	あいちエシカル消費普及啓発事業	R2	日程:R4.11.12(土) 場所:オアシス21(名古屋市東区) 参加者数:3,480名	イベント開催:3箇所	人や社会、地域、環境に配慮した商品やサービスを選んで消費する「エシカル消費」について、広く県民に普及啓発するため、参加体験型のイベントを開催し、消費者の持続可能な社会の形成に貢献する消費行動を促進する。		○		◎			12
2	環境局	環境政策課	SDGs推進フェア	R2	日程:R4年10月6日(木)～8日(土) 参加者数:16,511人(来場者:13,633人、オンライン視聴者:2,878人)	「SDGs AICHI EXPO 2023」の開催 開催日:R5年10月5日～7日 来場者:18,000人	SDGsに取り組む多様な主体が一堂に会し、それぞれの取組を発信し、各主体間のコミュニケーション、連携・ネットワーク化を促進する「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催するとともに、広く県民にSDGsの理解を促し、県内全域へSDGsを普及・浸透していくことにより、2030年のSDGs達成に向けた機運を醸成する。	◎	○	○	○	○	○	1～17
3	環境局	環境調査センター	あいち環境学習プラザにおける展示等	H19	プラザ来館者数:4,625名	継続実施	公共施設で全国トップクラスのZEB(ゼブ)を支える新エネ・省エネ設備や本物の環境分析現場の見学、ハンズオン展示などを行う。	○	◎					4 6 7 11 12 13 14 15 17
4	環境局	環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	H26	日程:R4.11.6(日) 場所:太田川駅前イベント広場「大屋根広場」(東海市) 参加者数:約700名	日程:R5.11.4(土) 場所:豊橋市	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、エコアクション推進フェアを開催する。		◎					4 6 7 11 12 13 14 15
5	環境局	環境活動推進課	環境情報システム	H17	—	継続実施	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信する。		◎	○				3 4 13 14 15
6	環境局	環境活動推進課	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	H14	店舗イベント開催回数:1回	店舗イベント開催回数:1回	東海三県一市の広域連携で、事業者・団体・行政が協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図る。		○	○	◎			9 12 13 14 15 17
7	環境局	環境活動推進課	化学物質セミナー	H14	・事業者向けセミナー(オンライン配信) 公開期間:令和4年11月16日(水)～令和4年12月21日(水)、申込者数:607名 ・県民向けセミナー 開催日:令和4年11月11日(金)、来場者数:82名	化学物質の適正な管理を一層推進するための事業者向けセミナーや、化学物質による暮らしや健康への影響などについて理解を深めるための県民向けセミナーを開催する。	・事業者向けセミナー(オンライン配信) 公開期間:令和5年11月29日(水)～令和6年1月19日(金)配信中 ・県民向けセミナー 開催日:令和5年11月9日(木)、来場者数:77名		◎		○			3 4 6 12
8	環境局	環境活動推進課	あいちエコアクション・ポイント事業	R4	令和5年2月15日から開始 参加者:2,787名	取組強化キャンペーンを実施 夏季:6月16日～7月15日 冬季:12月16日～1月15日	県民の方の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、飲食店での食べ残しゼロなどの環境配慮行動(エコアクション)に対して、愛知県独自のポイント(あいちエコアクション・ポイント)を付与する。		○		◎			12 13 14 17
9	環境局	地球温暖化対策課	夏休み!おうちでエコアップ大作戦	R2	各学校の夏休み期間に実施 参加数:4,498家族	各学校の夏休み期間に実施	家族と一緒に過ごす時間が長い夏休みを利用して、小学生とその家族が省エネ活動をはじめとした環境配慮項目が記載されたチェックシートを利用しながら、家族みんなでエコアップ行動に取り組む「夏休み!おうちでエコアップ大作戦」を実施する。		○	○	◎			4 7 13
10	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾大感謝祭	H26	10月9日(日)開催 会場:一色さかな広場 参加人数:約2,000名	10月14日(土)開催	三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高める「三河湾環境再生プロジェクト」のさらなる推進に向け、多くの人々に三河湾にもっと関心をもってもらうことを目的に「三河湾大感謝祭」を開催する。	◎	○					6 14 15 17
11	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵電子図書館	H17	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信した。	継続実施	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。		◎	○		○		6 14 15 17
12	環境局	資源循環推進課	資源循環学習	R3	資源循環に関する学習、循環ビジネス振興施策情報、愛知環境賞表彰事例等を発信した。【発信件数:28件】	【発信件数:24件】	資源循環に関する学習、循環ビジネス振興施策情報、愛知環境賞表彰事例等を発信する。		◎	○				4 7 9 11 12 13

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
13	環境局	資源循環推進課	ごみゼロ社会推進あいち県民会議	H5	ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等111団体(令和5年5月現在)で構成 ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催 令和4年10月29日 ナディアパーク デザインホール 参加者延べ約500名(会場及び配信) レジ袋削減取組店制度の運用 ワンウェイ(使い捨て)プラスチック削減取組表彰制度の運用	ごみゼロ社会推進あいち県民大会 令和5年10月21日 アスナル金山 参加者:約400名(食品ロス削減イベントと同時開催)	県民、事業者、行政が一体となつてごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行う。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等で構成) ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催、レジ袋削減取組店制度の運用	◎	○				12 17
14	環境局	資源循環推進課	海岸漂着物等に関する環境学習	H30	・「海洋ごみの発生抑制環境学習プログラム」を用いた、小学校でのモデル事業 ・イベントへのブース出展(Let'sエコアクションinAichi、SDGs AICHI EXPO) ・海岸漂着物等に係る川柳の募集	イベントへのブース出展:2回 啓発資材の作成	海岸漂着物等に係る啓発事業として、「海洋ごみの発生抑制環境学習プログラム」を用いて、イベントへのブース出展を行う。また、海洋ごみ発生抑制に関する啓発資材を作成する。	◎					12 14
15	環境局	資源循環推進課	食品ロス削減推進事業	H30	・食品ロス削減イベントの開催 令和4年10月29日 ナディアパーク デザインホール 参加者延べ約500名(会場及び配信) ・イベントへのブース出展(食育推進全国大会inあいち、ごみゼロ社会推進あいち県民大会)	・食品ロス削減イベントの開催:1回 令和5年10月21日 アスナル金山 参加者:約400名 ・イベントへのブース出展:3回	食品ロス削減に係る啓発事業として、食品ロス削減イベントの開催や食品ロス量を計量し減量にチャレンジする県民参加型事業を実施する。 また、「食品ロス削減環境学習プログラム」を用いて、イベントでのブース出展を行う。	◎	○		○	12	
16	農業水産局	食育消費流通課	地産地消の推進	H17	・ネットワークの拡大 新規:61会員 ・フェイスブックによる情報発信:214記事	・ネットワークの拡大 ・SNSによる情報発信等	地産地消を推進する「いいともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、情報受発信等を行う。	○	◎				12
17	農業水産局	食育消費流通課	いいともあいち魅力向上推進事業のうちSDGs貢献あいち地産地消推進事業	R4	いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーの実施 登録数:895人 スタンプ獲得数:3,132個	・地産地消の理解を促すためのデジタルプロモーションの実施 ・地産地消デジタルスタンプラリーの拡充実施	SDGsや環境負荷低減の達成に対する社会的関心が高まる中、その一手法として「地産地消」の取組についても県民の関心が高まりつつあることを踏まえ、特に県内に向けて、地産地消を推進する「いいともあいち運動」を核とした取組を一層推進する。	○	◎				12
18	農林基盤局	農地計画課	あいちの農業用水展	H3	開催日:令和4年8月1日(月)~7日(日)	開催日:令和5年8月1日(火)~7日(月)	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育てられてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等をパネル展示により紹介する。	○	◎				2 6 7 9
19	建設局	河川課	みずから守るプログラム	H23	【手づくりハザードマップ】12地区 【大雨行動訓練】9地区	継続実施	水害に直面した際に県民が適切な行動に移せるよう、県民目線の情報提供と、県民の自発的な行動を育む地域協働型の取組を推進する。	○		◎			11 13
20	都市・交通局	交通対策課	あいちエコ モビリティライフ推進事業	H20	・市町村等と連携した実践促進事業:1回 ・「エコモビの日」PR活動:2回 ・エコモビ実践セミナー:1回	・市町村等と連携した実践促進事業 ・「エコモビの日」PR活動 ・エコモビ実践セミナー	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行う。	○		◎			11 13
21	都市・交通局	交通対策課	高度道路交通システム推進費	H10	・あいちITS大学セミナー:11回 ・あいちITS産・学・行政交流会:1回	・あいちITS大学セミナー ・あいちITS産・学・行政交流会	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行う。			◎	○		9 11 13

2 体験等を通して気軽に楽しく学び合える機会と場の確保・・・本編P17

- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・生活との関わりなどについて、体験等を通し、実感を伴って学べる機会の拡充
- ・世代間の学び合い・育ち合いに発展する環境学習等の充実

22事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
22	環境局	環境調査センター	プラザ環境学習講座	H17	講座回数:121回 参加者数:3,179名	継続実施	社会見学に対応した環境学習や、夏休み等における環境学習講座及びイベントを開催する。	○	◎	○	○		4 6 7 11 12 13 14 15 17
23	環境局	環境活動推進課	AELネットを活用したエコアクションの推進	H26	期間:R4.6~R5.2 応募総数:3,332名 参加者数:29,930名	期間:R5.6~R6.2	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、AELネット環境学習スタンプラリーを開催する。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
24	環境局	環境活動推進課	もりの体験教室の実施	H19	ツアー参加者:3,653名 あそび工房参加者:3,223名 他行事:4,295名	継続実施	愛・地球博記念公園内の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。						
			もりの学舎キッズクラブ等の運営	H20	Aコース48名、Bコース47名 参加延べ人数702名、各コース9回実施	継続実施	もりの学舎において、小学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。	◎	○				4 15
			インタープリタースキルアップ研修	H20	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	研修回数:4回	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。						
25	環境局	地球温暖化対策課	「あいち COOL CHOICE」ブース出展	H20	出展回数:24回	出展回数:10回	市町村のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いて脱炭素型ライフスタイルへの転換を促す普及啓発を行う。		◎	○	○		4 7 13
26	環境局	地球温暖化対策課	エコドライブ普及促進事業	H26	参加数:100人	継続実施	県民から参加者を募集してwebから登録してもらい、エコドライブに関する動画を配信し、その前後で燃費がどの程度改善したかを報告することでエコドライブの効果を体験してもらう(JAF共催)	○	○		◎		3 4 7 8 11 12 13
27	環境局	地球温暖化対策課	次世代自動車普及促進事業	H21	イベント出展:1回	継続実施	自動車利用における脱炭素化の推進のため、自動車から排出されるCO2の削減効果が高いEV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)の展示・試乗会等を開催し、普及啓発を行う。	○	◎			○	4 7 9 11 12 13
28	環境局	地球温暖化対策課	先進環境対応公用車導入費(一部)	H17	イベント出展:15回	継続実施	燃料電池自動車(FCV)への理解を深めていただくため、県内各地の環境学習などのイベント等でFCVの特徴を紹介するとともに、展示等を行う。	○	◎				4 7 9 11 12 13
29	環境局	地球温暖化対策課	低炭素水素の利活用及び水素社会に係る普及啓発	R3	イベント出展:11回 (内訳 ブース出展8回、チラシ配布2回、 口頭+ポスター発表1回)	イベント出展:4回 (ブース出展4回)	低炭素水素の利活用及び水素社会について、新たな事業者等による低炭素水素の利活用等につながる普及啓発を実施する。また、広く県民の方向けにも水素社会に係る普及啓発を実施する。		◎			○	4 7 11 12 13
30	環境局	水大気環境課	流域モニタリング一斉調査	H21	参加団体数:105団体 延べ参加人数:738名 延べ調査地点:263地点	6月5日から9月末まで実施	河川やため池など身近な水環境に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」を活用し、調査を実施する。	○	◎	○		○	6 14 15
31	環境局	水大気環境課	水循環再生地域協議会の開催	H18	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行った。	継続実施	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行う。				◎	○	6 14 15
32	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	三河湾環境再生体験会	H28	8月27日(土)開催 会場:東幡豆海岸及び前島 参加人数:26名	8月30日(水)開催	干潟の生きもの観察やアサリの保護活動により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の環境再生への関心を高める。	◎	○				6 14 15
33	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	油ヶ淵流域水環境モニタリング	H17	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やパックテストによるCOD濃度などの調査を行い、生活排水等による水の汚れを把握した。	継続実施	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やパックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	○	◎				6 15 17



番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
34	環境局	水大気環境課 生活環境地盤 対策室	水質パトロール隊事業	H10	参加人数:40グループ、1,198名	募集:4月21日(金)~8月31日(木) 活動実施・レポート提出:10月31日(火)まで	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらう。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。	○	◎	○		○	6 14 15
35	環境局	水大気環境課 生活環境地盤 対策室	サポーター向け講座	H31	①9月10日(土) 会場:南知多町聖崎公園周辺海岸 参加人数:19名 ②令和5年2月18日(土) 会場:蒲郡市生命の海科学館 参加人数:50名	2回開催予定 ①6月17日(土) ②令和6年2月(予定)	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのサポーターの三河湾への関心・理解をより高め、サポーターの三河湾の環境保全活動への参加を促すため、「サポーター向け講座」を開催する。		◎			○	6 14 15 17
36	環境局	自然環境課	自然公園魅力発信強化事業	H30	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間50回 普及啓発資材の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回(予定) 普及啓発資材の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施や、普及啓発資材の作成を通して、自然環境に関する知識や自然保護思想の普及啓発を行う。	◎					15
37	福祉局	子育て支援課 (指定管理者)	自然物を使った工作や自然観察会の実施	—	愛知こどもの国の指定管理者が、園内の自然物(小枝や枝の輪切り、木の実)を利用した工作を実施した。また、外部団体と連携して、園内の生き物や昆虫観察会を行った。また、さらに、AELネットにも参加し環境学習のきっかけを提供している。 (令和5年3月末現在 参加者数:945名)	①4月に実施予定/園内にて ②6、7、9、11月/わくわく工房にて ③夏から秋にかけて/園内にて ④春から冬にかけて/園内にて ⑤AELネット参加	①園内の自然環境を題材にSDGsの理念を取り入れた行事を実施予定 ②園内の自然物(小枝や木の実)や廃材を利用した工作を実施予定 ③外部団体と連携した園内の生き物や昆虫の観察会を実施予定 ④生物多様性あいち学生プロジェクトGAIAと連携した活動を実施予定 ⑤AELネットに参加予定	◎	○			○	14 15 17
38	農業水産局	水産課	あいち海の恵み普及啓発事業	H24	1 県産水産物知名度向上対策事業 育児情報誌への魚を紹介する記事を4回掲載した 2 魚食の伝道師派遣事業 出前授業を14カ所で実施(622名) 3 若い世代への県産水産物普及啓発事業 県内の小学5年生68,619名に水産物普及啓発教材を配布した	教材の配布学校数1,003校	1 若い世代への県産水産物普及啓発事業 若いうちから県産水産物への親しみを持たせ、将来の消費者として地元の魚を選ぶという行動様式を定着させるため、県内全小学校に水産教育用の教材を配布する。 2 あいちのおさかな学習事業 主要県産水産物を「見て」「触って」学べる体験学習と漁業者との交流会、アユやサツキマスの体験放流会を行う。	○	◎				14
39	農林基盤局	林務課 (指定管理者)	自然観察会の実施	H17	自然観察会 45回実施	継続実施	愛知県森林公園及び愛知県民の森の指定管理者が、「自然ウォッチング」「野の花めぐり」などを実施する。	◎					3 4 15
40	農林基盤局	森林保全課	あいち海上の森保全活用事業	H18	森林整備等活動:実施回数29回 参加者数382名 参加体験学習:実施回数10回 参加者数303名	森林整備等活動:実施回数未定 参加体験学習:実施回数16回	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	○				◎	15
41	農林基盤局	森林保全課 森と緑づくり推進室	森と緑づくり体感ツアー及びシンポジウムの実施 【あいち森と緑づくり事業】	H20	体感イベント:1回開催 参加者38名	バスツアー(又は体感イベント):1回 シンポジウム:1回	森や緑の現状を県民に直接、見て、体験してもらい、森と緑づくりへの理解を深めてもらうためのバスツアーやシンポジウムを実施する。 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体感イベントに変更の場合あり)	○	◎				13 15
42	都市・交通局	公園緑地課 (指定管理者)	自然観察会の実施	H17	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施した。	継続実施	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施する。	◎					11 15
43	都市・交通局	公園緑地課	油ヶ淵水辺公園整備事業	H19	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施した。	継続実施	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施する。	◎	○				11 15

3 学校における環境教育の促進（教育）・・・本編P22

- ・発達段階に応じた環境教育の実施
- ・環境教育に必要な人材や場、教材とのマッチングの仕組みの提供
- ・県内環境学習施設等のネットワークを活かした、環境教育の機会の拡充と質の向上
- ・効果的な環境教育を実施するための教員研修の実施
- ・環境教育の参考となる、地域資源の活用事例や、学び合い・育ち合いに発展した事例についての情報提供
- ・環境教育に活用できるデータや情報の、学校が使いやすい形での発信（環境に関するデータ、発達段階に応じた体験的学習の場や教材、専門的な人材、財政的支援に関する情報など）
- ・表彰・コンクール等による、優れた環境教育の取組への支援

10事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
44	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	あいちの学校連携ネット	H23	情報更新依頼先 高専 1 四大 51 短大 19	R4事業実施に同じ	大学と県教育委員が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりする取組を推進するためのマッチングサイトを運営する。				○	◎	4
45	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	ユネスコスクール活性化事業	H27	ユネスコスクール交流会の実施 分科会等申込者:100名	ユネスコスクール交流会の実施 分科会等参加者:200名	ユネスコスクールの活動を継続的に支援し、ESDの活動拠点としてのユネスコスクールの発展に寄与するため、関係機関から講師等の派遣及び研修会への教員派遣を行う。また、県内のユネスコスクール活動の充実と、各校の連携促進、ネットワークの構築を図りユネスコスクールの全県的な広がりを目指した交流会を実施する。				○	◎	4 7 10 11 12 14 15 16 17
46	教育委員会事務局	高等学校教育課	あいちSTEAM教育推進事業	H29	R2年度に新たに指定したあいちSTEMハイスクール研究指定校5校及びあいちSTEM教育力強化研究指定校4校による研究。 あいちSTEM能力育成事業(知の探究講座:5大学93名参加、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。 あいちSTEM教育普及事業(IT・航空STEM講座)の実施。	R5年度に指定したあいちスーパーサイエンスハイスクール研究指定校1校による研究。 あいちSTEM能力育成事業(知の探究講座:5大学78名募集、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。	自然科学や情報技術等の特定分野に関心が高く、より深く学ぼうとする意欲のある生徒に対し、連携大学、企業等による先進的なSTEAM教育を実施することにより、愛知の科学の発展を担う理工工学系人材を育成する。		○	◎	○		4 7 9 12 15
47	教育委員会事務局	高等学校教育課	県立高等学校教育推進実施計画	H28	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図った。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。			○	◎		4 7 13 14 15 17
48	教育委員会事務局	高等学校教育課	キャリア教育推進事業	H24	(1) インターンシップ等の実施(全日制県立高校132校) (2) 地域産業専門講座(職業学科設置校46校) (3) 地域ものづくりスキルアップ講座 (4) 専門高校生海外インターンシッププロジェクト ※新型コロナウイルス感染症拡大により中止 (5) キャリア教育コーディネーターの活用(コーディネーター5名、モデル校18校) (6) あいちの産業担い手育成事業	(1) インターンシップ等の実施(全日制県立高校146校) (2) 地域産業専門講座(職業学科設置校54校) (3) 地域ものづくりスキルアップ講座 (4) 専門高校生海外インターンシッププロジェクト (5) キャリア教育コーディネーターの活用(コーディネーター5名、モデル校18校) (6) あいちの産業担い手育成事業 (7) 産業教育・STEAM教育普及事業 (8) 産学連携活性化事業	高校生が勤労観・職業観や主体的な進路選択をできる能力・態度を身に付け、学校生活から職業生活への移行が円滑に行われるよう、全ての全日制県立高校においてインターンシップ等を実施する。また、産業界等の協力を得て専門高校生等の技術及び技能の習得を図る。		○	◎	○	4 7 9 12 15	
49	教育委員会事務局	高等学校教育課 特別支援教育課	地域の未来を創る人材育成事業(道徳教育推進事業)	R2	県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を実践指定校に指定した。	R4事業終了	R4事業終了		○		○	◎	14 15

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
50	教育委員会事務局	高等学校教育課 義務教育課 特別支援教育課	公立学校初任者研修	H17	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を予定していたが、令和4年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、宿泊研修を中止し、その代替研修で実施した。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	◎	○			○	4 17	
51	教育委員会事務局	高等学校教育課 特別支援教育課	地域の明日を拓く人材育成事業(道徳教育推進事業)	R5	—	県立高等学校10校、県立特別支援学校2校を実践指定校に指定する。	実体験の乏しい現代の児童生徒に、いじめや集団生活におけるトラブルを自ら回避・解決する力を身に付けさせるために、道徳教育の実践やさまざまな体験活動、交流活動、地域貢献活動を行い、持続可能な地域社会の構築に向け、人間関係をつくる力やコミュニケーション能力を養うとともに、多様な人々の存在を尊重しながら自らを高め、社会に役立つことのできる人材を育成する。	○				○	◎	14 15
52	教育委員会事務局	義務教育課	地域とともにある学校づくり推進事業	R3	推進校(小1校、中1校)において、地域との連携及び協働等のキーワードにより、地域とともにある学校づくりに向けての取組を計画・実践した。	推進校(小1校、中1校)において、地域との連携及び協働等のキーワードにより、地域とともにある学校づくりに向けての取組を計画・実践する。	「地域との連携及び協働」「分かったこと・できるようになったことを活用する」をキーワードとして、児童生徒が地域とのつながりの中で学び、地域をよりよく変えていけるという可能性を実感できる取組や、学校と地域が一層の活性化を図ることができるよう、児童生徒を中心に据え、地域とともに創意工夫のある取組を考え、実践する。	○				○	◎	4
53	教育委員会事務局	保健体育課	学校食育推進者養成講座	H17	研究発表校(4校)が、学校給食や食育に関する発表を行った。また、文部科学省の食育調査官による食育推進に関する講義をオンラインで受講した。参加者は239名であった。	研究発表校(2校)による発表、文部科学省の食育調査官による講義を予定。参加者はコロナ禍前(450名程度)に戻す予定。	学校における食育推進の中核となる指導者を養成する。	○	◎					3

4 学校における環境教育の促進(県)・・・本編P22

- ・自然とふれあう学習の促進
- ・低炭素社会、水、資源循環、エネルギーや廃棄物、買物や食に関する学習の促進
- ・多様な主体との連携・協働の促進
- ・学習施設等のネットワークの活用など

14事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
54	環境局	環境政策課	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業(かがやけ☆あいちサステイナ研究所)	H27	大学生の養成:39名 成果発表会の開催:参加者147名 成果の発信:1回 SDGs関連イベントへの参加:1回	大学生の養成:40名程度 成果発表会の開催 成果の発信:1回程度 イベント等への参加:1回程度	パートナー企業から提示された環境課題に対して、解決策を調査、提案するプログラム「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」により、持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生を育成する。	○	○	○	◎	○	4 9 11 17
55	環境局	環境活動推進課	インタープリター自然体感推進事業	H28	「もりの学舎ようちえん」の実施 期間:R4.5~R5.3、回数:12回開催 組数:30組、延べ参加組数:144組	回数:各コース6回 組数:30組	未就学児童とその保護者を対象に、森の中での自然体感プログラムを四季を通じて実施する。	◎	○				4 15
					「一日もりの学舎ようちえん」の実施 園数:11園	園数:12園	保育園・幼稚園等の園児を「もりの学舎」に招き、様々な感覚を使った自然体感プログラムを実施する。						
					「森の伝道師派遣」の実施 園数:21園	園数:24園	保育園・幼稚園等の活動場所にインタープリターを派遣し、自然体感プログラムを実施する。						
					「子ども自然体感活動指導者養成研修」の実施 〈幼稚園教諭等向け〉 各コース3回開催 延べ参加人数 96名 参加者 くさばなコース:20名、 いきものコース:20名 〈施設等職員向け〉 2回開催 参加者 とだがわこどもランド11名、愛知県青年の家9名	〈幼稚園教諭等向け〉 各コース3回開催 定員数:くさばなコース20名、いきものコース20名 〈施設職員等向け〉 2回開催 定員数:各回20名	幼稚園教諭、保育士、施設職員を対象に、未就学児童に対する自然体験活動が効果的であることを伝え、自ら自然体感プログラムが実施できる人材を育成する研修を実施する。						

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
56	環境局	環境活動推進課	環境学習副読本の作成・配布	H17	52,500部作成・配布	55,000部作成・配付	県内の小学校新4年生(名古屋市を除く)を対象に、環境学習副読本を作成、配付する。		◎	○				4 6 13 14 15
57	環境局	環境活動推進課	高校生環境学習推進事業(あいちの未来クリエイト部)	H29	参加校:3校(参加生徒数:32名)調査・研究の成果を、11月の調査研究発表会で発表。作成した教材の体験を実施。活動報告集の発行(R5.3発行)	参加校:3校	高校生が、環境問題に関する調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材等を作成するとともに、その教材等を活用・普及する。	○	○	◎	○	○		4 6 13 14 15 17
58	環境局	地球温暖化対策課	一般向け「ストップ温暖化教室」	H19	開催回数:2回	開催回数:10回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、一般県民を対象とした教室を開催する。		◎		○			4 7 13
59	環境局	地球温暖化対策課	小学生向け「ストップ温暖化教室」	H19	開催回数:小学校高学年向け62回 小学校中学年向け269回 放課後子ども教室向け50回	開催回数:小学校高学年向け130回 小学校中学年向け130回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、小学生を対象とした教室を開催する。		◎	○	○			4 7 13
60	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾環境学習会	H27	7月30日(土)開催 会場:蒲郡荘及び三河湾海上 参加人数:29名	7月29日(土)開催	県立三谷水産高校実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾の水質や底質を実際に調査することで、三河湾の現状や環境を学び三河湾の環境再生への関心を高める。	○	◎					6 14 15
61	環境局	自然環境課	野生生物保護実績発表大会	S46	令和4年8月4日(木)実施 愛知県内の小・中・高から12校の発表団体 参加人数はのべ228名 刈谷市産業振興センター(小ホール)にて開催 身近な環境保全の活動や研究の取組を発表	令和5年8月3日(木) 愛知県内の小・中・高、こどもエコクラブ等の団体が対象。 刈谷市産業振興センター(小ホール)	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、学び合う。		◎		○	○		14 15 17
62	環境局	自然環境課	愛鳥週間用ポスターの原画の募集	S46	県内参加校数:502校 県内応募総数:15,874点	継続実施	公益財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集する。	○	◎					14 15 17
63	環境局	自然環境課	愛知県とブラジル・サンパウロ州とのオンラインユース交流プログラム	R3	愛知県とブラジル・サンパウロ州の両地域のユース世代が、生物多様性の保全の取組等について相互に学び合うオンラインでの友好交流プログラムを実施した。	継続実施	愛知県とブラジル・サンパウロ州の両地域のユース世代が、生物多様性の保全の取組等について相互に学び合うオンラインでの友好交流プログラムを実施する。		○	○	○	◎		4 14 15 17
64	農業水産局	水産課	少年少女水産教室	-	開催日:2022年7月26日 参加者:4名	継続実施	中学生を対象に海に関する知識の学習や漁業体験を行う少年少女水産教室を実施する。	◎	○					14
65	建設局	下水道課	メタウォーター下水道科学館あいちの運営	H12	来館者数:75,833人	【夏だ！ワクワク科学館祭り2023】 開催日:令和5年8月 【エッピー祭2023】 開催日:令和5年12月	メタウォーター下水道科学館あいちにおいては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく水循環や水環境など学習の場を提供する。来館者に対して下水道の役割・機能のほか、水環境・水循環を含めた環境について考えるためのイベントを開催する。	○	◎	○	○	○		6 7 11 14
66	建設局	下水道課	下水処理場見学の受入	H17	見学者数:5,500人	継続実施	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる。		◎	○				6 11 14
67	建設局	河川課	「子どもの水辺」再発見プロジェクト	H17	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進した。	継続実施	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進する。	◎	○					4



5 事業者における社内外に向けた環境学習等の促進・・・P28														
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習等を行う事業者への支援(情報収集・提供など)</li> <li>表彰や社会・環境への配慮の観点からの優遇措置等を通じた、優れた技術開発や活動等の支援</li> <li>環境マネジメントシステム等に関する情報提供と運用の支援</li> <li>主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供</li> <li>優れた取組事例の共有の促進</li> </ul>														
2事業														
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
68	農業水産局	水産課	水産多面的機能発揮対策事業	H28	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援した。 (令和5年3月31日現在 教育学習会実施回数18回、受講者数1,209名)	教育学習会の実施回数8回	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援する。	○	◎			○	14	
69	農林基盤局	林務課	林業普及指導事業	H17	林業普及指導員による技術指導10回	継続実施 (実施回数未定)	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施する。				◎	○	13 15	
6 NPO等のポテンシャルを活かした環境学習等の促進・・・P29														
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習等を行うNPO等への支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など)</li> <li>主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供</li> <li>優れた取組事例の共有の促進</li> </ul>														
3事業														
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
70	県民文化局	社会活動推進課	あいち協働ルールブック2004に基づく「NPOと行政の協働に関する実務者会議」の開催	H16	NPOと大学・企業など多様な主体との協働に向けた検討会議の開催 3回 第4回R4.7.20 第5回R4.11.24 第6回R5.2.9	NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催 3回予定	NPOと行政の協働推進に向けて、「あいち協働ルールブック2004」に基づくNPOと行政の継続的な協議・検討を行うため、「NPOと行政の協働に関する実務者会議」を開催する。					○	◎	17
71	県民文化局	社会活動推進課	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催	H16	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催 1回 R4.12.20 14名出席	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 1回予定	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催する。				○		◎	17
72	農業水産局	食育消費流通課	地域での食育の推進事業費補助金	H29	・事業実施主体:7団体 ・補助率:1/2以内	・事業実施主体:7団体 ・補助率:1/2以内、10/10定額	地域の関係者が連携して取り組む地域食文化の継承や農業体験実施などの活動に対して助成を行う。	◎	○				4	
7 地域コミュニティのネットワークを活かした環境学習等の促進・・・P31														
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習等を行う地域コミュニティへの支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など)</li> <li>主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供</li> <li>優れた取組事例の共有の促進</li> </ul>														
2事業														
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
73	環境局	環境活動推進課	こどもエコクラブ支援	H17	壁新聞応募数:2件 絵日記応募数:0件	継続実施	県内のこどもエコクラブから応募される壁新聞・絵日記の選定を行う。また、環境イベント等の情報を県内のこどもエコクラブへ提供する。			◎	○		4 6 13 14 15	
74	建設局	河川課	水辺の緑の回廊整備事業	H9	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施した。	継続実施	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施する。	○					◎	11



8 地域の特徴を活かした環境学習等を実施できる環境づくり・・・P31														
・環境課題やその解決のためにできることについての情報発信 ・身近にある場や機会を活かした環境学習等の促進											7事業			
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
75	政策企画局	企画課	伊勢湾総合対策協議会	S45	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行った。(個別の事業は各部署が担当)。(主な活動内容)①政策提言活動:提言1回、NPOの取組支援:後援名義使用承認:2回②海岸漂着物対策検討会の開催:現地研修会1回、啓発物品の共同購入1回③環境問題研究会の開催:専門家による講演会1回	①政策提言活動:1回以上、NPOの取組支援:講演名義の申請があった場合に実施 ②現地研修会の実施、啓発物品の共同購入、啓発活動 ③研究会の実施	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行う(個別の事業は各部署が担当)。(主な活動内容)①政策提言活動、NPOの取組支援 ②海岸漂着物対策検討会の開催 ③環境問題研究会の開催		◎	○				14
76	環境局	自然環境課	探鳥会・観察指導	H17	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察した。	継続実施	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する。	◎						15
77	環境局	自然環境課	全国・自然歩道を歩こう大会	H17	開催日:令和4年10月16日(日) 開催地:犬山市内(東海自然歩道他) 参加者:66名	継続実施	東海自然歩道で自然とふれあうイベントを開催する。	◎						15
78	環境局	自然環境課	あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会	H29	令和4年11月3日にミッドランドホールにて実施 生物多様性モニタリングの成果発表等	継続実施	あいち生物多様性戦略2020に基づき設立された9つの生態系ネットワーク協議会の関係者等が一堂に会し、相互交流を通じて活動のさらなる活性化を目指す交流会を実施する。		○	○	○	◎		14 15 17
79	農林基盤局	林務課	「県有林野の利活用」事業の実施	H17	地方公共団体やNPO等の団体が行う森林・林業体験などの活動回数 延べ15団体が344回活動	継続実施	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。		○		◎			13 15
80	農林基盤局	林務課	県有林における「企業の森づくり」事業の実施	H18	企業が社会貢献活動として行う森林整備などの活動回数 延べ14社が39回活動	継続実施	県内の約3,000ヘクタールの県有林を対象とし、企業が社会貢献活動として行う森林整備を県有林で受け入れる事業を実施する。		○		◎			13 15
81	建設局	水資源課	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施	S54	応募総数7編	継続実施	「水の日・水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に水循環政策本部、国及び本県が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰する。	○	◎					4 6 14 15

9 事業体としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施・・・P32														
・環境マネジメントシステムの導入や職員への環境学習の実施											6事業			
番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
82	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	H17	新規採用職員研修(中期) 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員(e-ラーニング) 研修日:- 受講者数:454名	受講者数:約460名	新規採用職員を対象にあいちエコマネジメントに関する講義を行い、職員の環境保全に対する理解を深める。		◎		○			12 13
83	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	H30	課長級トップセミナー 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員(資料配付) 研修日:5/9(月) 受講者数:203名	研修日:5/30(火) 受講者数:177名	課長級職員を対象にあいちエコマネジメントに関する資料配布を行う。管理的職員の環境保全に対する意識向上を図る。		◎		○			12 13

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
84	環境局	環境政策課	環境局新任職員研修	H14以前	環境局新任職員研修の実施:1回	環境局新任職員研修の実施:1回	新規採用職員や新たに環境局へ配属された職員等に対して、本県における環境行政に対する理解を深めるための研修を実施する。		◎		○			4
85	環境局	環境政策課	市町村職員等環境基礎研修	H14以前	市町村職員等環境基礎研修:資料配付 環境保全業務基礎ハンドブック:250冊	市町村職員等環境基礎研修:2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック:250冊	市町村職員等に対して、各種公害等に対応した環境関係法令及び条例の規制内容等を整理した「環境保全業務基礎ハンドブック」を配布する。なお、研修は対面及びオンライン開催とする。		◎		○			4
86	環境局	環境活動推進課	エコアクション21認証取得講習会	H22	研修回数:4回 参加事業者数:16事業者	研修回数:4回 参加事業者数:20事業者	エコアクション21の認証取得を目指す事業者向けに取得のための具体的な取組についてアドバイスするため、エコアクション21地域事務局による研修会を支援する。		○	○	◎			12
87	環境局	環境活動推進課	環境マネジメントシステム推進事業	H17	対象者(環境管理推進員574人)への資料配付・動画研修を実施	書面開催 研修受講者数:約600名	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県の行う全ての事務事業における環境負荷低減のための取組を推進する。		○		◎			12 13

10 環境学習等を行う各主体への支援・・・P32

- ・教材やプログラムなどの提供・貸与、資材などの支援
- ・環境学習等の機会についての情報提供
- ・環境学習等を必要としている者と、提供できる者をつなぐ取組の実施
- ・優れた取組の発掘・発信
- ・行政情報の環境学習等への活用

7事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
88	環境局	環境調査センター	中高年・シニア環境学習推進事業	H30	講座回数:36回 あいちecoティーチャー養成研修の実施 養成人数19人	講座回数:30回	県が養成した中高年・シニア世代の環境学習講師(あいちecoティーチャー)を小学校や環境学習施設等に派遣し、小学生等に対し環境学習講座を行う。	○	○	○	○	◎		4 6 12 13 14 17
89	環境局	地球温暖化対策課	地球温暖化防止活動推進員の研修	H16	開催回数:4回	開催回数:5回	新規の推進員に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等について研修を行う。 また、既存の推進員に対して、講師・指導員としてのスキルアップや、ストップ温暖化教室をオンラインで開催するための技術取得・向上を目的とした研修を行う。		◎	○	○			4 7 13
90	環境局	資源循環推進課	愛知環境賞	H18	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進した。 【応募:39件、表彰:16件】	【表彰:15件】	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進する。			○	◎	○		4 7 9 11 12 13
91	環境局	資源循環推進課	あいち環境塾	H20	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施した。 また、卒塾生による地域での実践活動の支援等を行った。 【塾生25名、修了23名】	【塾生24名】	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施する。 また、卒塾生による地域での実践活動の支援等を行う。		○	○	◎			4 7 9 11 12 13
92	環境局	自然環境課	あいち生物多様性保全担い手養成講座	R4	開催数:3講座 のべ参加者数:33名	開催数:6講座 各講座定員:30名	保全活動に関心の高い方を募集し、保全活動の担い手を養成するため、フィールドワークを主とした連続講座を開講する。	◎	○	○		○		4 14 15 17
93	保健医療局	健康対策課	食生活改善推進員の再教育	H17	研修会の開催 実施回数:4回 受講者数:96名	回数 5回	住民参加型の地域ボランティアである食生活改善推進員の活動を支援するための研修会を開催する。		○		◎			3 4
94	農業水産局	食育消費流通課	食育推進ボランティアの登録・活動支援	H17	・ボランティア研修交流会開催:7か所	・ボランティア研修交流会開催:7か所	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアの登録や活動支援を行う。				◎			4

11 県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり……P33

- ・県内全域を対象とした環境学習等に関する計画等の策定及び推進
- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・コーディネート機能の充実など、連携・協働を促進するための環境づくり

11事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
95	政策企画局	企画課	SDGs未来都市計画の推進	R1	○身近にできるSDGs達成に向けた取組を分かりやすく紹介するパンフレット「私にもできるSDGs」を作成(作成部数:20,000部) ○「愛知県SDGs登録制度」の登録企業等を対象としたSDGs登録企業等交流会を開催(参加者数:35名)	①動画作成本数(予定):5本(県民向け3本、企業向け2本) ②参加者数:40名程度	①県民のSDGs達成に向けた具体的な行動や企業等におけるSDGsを起点とした事業展開を促進するため、SDGsの取組事例を分かりやすく紹介する動画コンテンツを作成する。 ②SDGs達成に向けた取組を行う企業同士のマッチングと新たな取組の創出を図るため、「愛知県SDGs登録制度」の登録企業等を対象としたSDGs登録企業等交流会を開催する。	○	◎	○	○	○	1~17
96	環境局	環境活動推進課	愛知県環境教育等推進協議会の開催	H24	協議会開催数:2回	開催数:3回(予定)	環境学習等行動計画2030に基づき、環境学習等をより効果的に進めるための取組を進める。	○	○	○	○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
97	環境局	環境活動推進課	環境学習等行動計画2030の普及・定着	H30	実践事例集の活用	開催数:1回	市町村職員を対象として、環境学習等行動計画2030の普及に向けた研修会を開催する。	○	○	○	◎		4 6 7 11 12 13 14 15 17
98	環境局	環境調査センター	環境学習コーディネート事業	H25	相談件数:6件 コーディネート件数:10件	相談件数:10件以上 コーディネート件数:7件以上	事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働して環境学習に取り組めるよう、各主体の調整や相談等の業務を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置する。				○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
99	環境局	環境活動推進課	「学びを行動につなぐサポートBOOK」の活用	H28	研修回数:1回 参加者数:19名	研修回数:1回 参加者数:20名(予定)	「学びを行動につなぐサポートBOOK」を活用し、連携・協働を促進するための研修を実施する。また、学校が連携・協働による授業を行いやすいよう、Webページ「環境教育 あいち協働授業づくり」を充実させる。				○	◎	4
100	環境局	環境活動推進課	環境月間行事の開催	S48	日にち:6月6日(月) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:3団体、28名	日にち:6月2日(金) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:2団体・38名	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行う。			○	◎		6 7 13 14 15
101	環境局	環境活動推進課	愛知県環境学習施設等連絡協議会	H18	構成員施設等:186施設等、37市町村 協議会開催回数:2回	協議会開催回数:2回	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、平成19年度に愛知県環境学習施設等連絡協議会を設置し、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。					◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
102	環境局	環境活動推進課 自然環境課	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	H21	交付対象事業件数:110件 (環境活動・学習推進事業交付金103件) (生態系ネットワーク形成事業交付金7件)	交付対象事業件数:112件 (環境活動・学習推進事業交付金104件) (生態系ネットワーク形成事業交付金8件)	あいち森と緑づくり税を財源に、NPO等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、団体等に対し活動に必要な情報やノウハウを身につけるための講習会を実施する。また、生態系ネットワークを形成するため、ビオトープの創出や維持、向上に資する事業を支援する。	○	○	○	◎	○	13 14 15 17
103	環境局	地球温暖化対策課	あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)	H30	登録数:37件 (個人32件、団体5件)	継続実施	県民、学校、地域団体、市町村等の自主的な地球温暖化対策活動を支援するため、地球温暖化対策について知見をもった人材及び、地球温暖化対策についての環境学習を提供する事業者等を発掘し、「温暖化まなびネット」に登録して公開する。		○			◎	4 7 13
104	農林基盤局	農地計画課	農業農村整備事業の必要性・効果のPR活動	H14	各農林水産事務所での啓発活動 件数:22件 参加者数:約22,700人	各農林水産事務所での啓発活動 件数:18件 参加者数:5,140人	農業農村整備事業の必要性や、農地や農業水利施設が有する多面的機能などについて県民の理解を促進するため、小学生を対象とした排水機場の見学会や、羽布ダムの周辺を散策するウォークラリー等のイベントを開催し、パンフレットや啓発グッズの配布、パネルの展示等を実施する。	○	◎				4 12 14 15
105	農林基盤局	農地計画課	農業農村多面的機能支払事業	H20	開催日:令和4年10月10日(月・祝) 参加者数:約500人	開催日:令和5年11月26日(日) 参加者数:約600人	愛知県における、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰する。「農地・水・環境のつどい」		○			◎	11 14 15

12 環境、環境学習等に関する情報の収集・提供・・・P34

・環境、環境学習、各主体の活動等に関する情報の収集・提供

12事業

番号	担当		事業	開始年度	R4事業実績	R5事業予定	R5事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
106	環境局	環境政策課	環境白書・愛知の環境のあらしの作成	S46	環境白書の作成:750部 愛知の環境のあらしの作成: 1,200部	環境白書の作成:750部 愛知の環境のあらしの作成: 1,200部	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらし」を作成、配布するとともに、ウェブサイトでも公表し、県民に周知する。		◎	○				4
107	環境局	環境活動推進課 資源循環推進課	庁舎周辺の清掃活動	H17	清掃活動回数:2回(5月、10月)	清掃活動回数:2回(5月、10月)	定期的に職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施する。	○	○			◎		12 17
108	環境局	地球温暖化対策課	再生可能エネルギー地産地消の推進	R3	開催回数:1回	継続実施	再エネ地産地消事業化検討調査の成果を情報発行し、地域における再エネ地産地消の取組を推進する。		◎			○		7 8 9 13
109	環境局	自然環境課	レッドデータブックあいち2020等による情報提供	H21	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について冊子やインターネットで情報提供を行った。	継続実施	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について、冊子やインターネットで情報提供を行う。		◎	○				14 15
110	環境局	自然環境課	外来種に関する情報提供	H23	Webサイト「STOP!あいちの外来種」や「ブルーデータブックあいち2021」による情報提供を行った。	愛知県特定外来生物対策ハンドブックの作成	Webサイト「STOP!あいちの外来種」や「ブルーデータブックあいち2021」を活用し、情報提供を行う。また、新たに、「愛知県特定外来生物対策ハンドブック」を作成・公表し、各主体の行う防除活動等を支援する。		◎	○				14 15
111	環境局	自然環境課	生物多様性あいち学生プロジェクト	R1	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施。年間17回 参加者延べ126名	継続実施	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施する。	◎	○	○	○	○		4 12 14 15 17
112	環境局	自然環境課	みんなで調べよう!あいちの生物多様性モニタリングハンドブックによる情報提供	H30	生物多様性モニタリングに際して、ハンドブックによる情報提供、参加への働きかけを行った(冊子配布、インターネット掲載)。	継続実施	生物多様性モニタリングについて、ハンドブックの活用(冊子配布、インターネット掲載)等を通して、情報提供や参加への働きかけを行う。	◎	○	○				14 15 17
113	経済産業局	産業科学技術課	新エネルギー関連産業育成事業	H22	情報フォーラム 1回 120名参加	情報フォーラム 1回	新エネルギー関連分野における技術課題等の解決および事業化の可能性を探る研究会活動の推進やセミナー等を行う。			○	◎			7 9 11
114	経済産業局	産業科学技術課	次世代自動車インフラ整備推進事業(FCV・水素エネルギー普及促進事業)	H26	専門講座 1回 39名参加	専門講座 1回	将来の本県の産業技術を支える若手を育成するため、県内の工業を学ぶ高校生を対象に、水素エネルギーや燃料電池自動車(FCV)に関する専門講座を行う。	◎	○			○		7 9 11
115	農業水産局	農業振興課	交流ネットワーク推進事業	H17	都市農村交流ガイド等による情報提供 Webサイト閲覧数 364,345	都市農村交流ガイド等による情報提供	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供する。	◎	○					11
116	都市・交通局	公園緑地課	県民参加緑づくりの支援【あいち森と緑づくり事業】	H21	以下の県民参加事業に対し支援を行った。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業 107件	継続実施	以下の県民参加事業に対し支援を行う。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業	◎	○			○		11 15
117	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営	H14	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供した。また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供した。	継続実施	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。		◎	○				4



五つの力	体感する力	理解する力	探究する力	活用する力	共働する力
◎の数	22	48	4	24	19
○の数	33	43	40	29	28

◎:当該事業に最も関連する力(「五つの力」のうち一つのみ)  
○:当該事業に関連する力(複数可)

持続可能な開発目標【SDGs】		事業数
 1 貧困をなくそう / NO POVERTY		2
 2 飢餓をゼロに / ZERO HUNGER		3
 3 すべての人に健康と福祉を / GOOD HEALTH AND WELL-BEING		8
 4 質の高い教育をみんなに / QUALITY EDUCATION		54
 5 ジェンダー平等を実現しよう / GENDER EQUALITY		2
 6 安全な水とトイレを世界中に / CLEAN WATER AND SANITATION		29

 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに / AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY		33
 8 働きがいも経済成長も / DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH		4
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE		16
 10 人や国の不平等をなくそう / REDUCED INEQUALITIES		3
 11 住み続けられるまちづくりを / SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES		32
 12 つくる責任 つかう責任 / RESPONSIBLE PRODUCTION AND CONSUMPTION		37

 13 気候変動に具体的な対策を / CLIMATE ACTION		44
 14 海の豊かさを守ろう / LIFE BELOW WATER		51
 15 陸の豊かさを守ろう / LIFE ON LAND		59
 16 平和と公正をすべての人に / PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS		3
 17 パートナーシップで目標を達成しよう / PARTNERSHIPS FOR THE GOALS		34
		414